麻生区少年野球連盟

大会運営マニュアル
試合進行規則

2014年 9月 初版
2016年 5月 改訂

麻生区少年野球連盟　大会運営マニュアル・規則集

本マニュアル及び規則は、麻生区少年野球連盟が主催する各大会を円滑、公平且つ安全に行うために定めるものである。
各チームは積極的に大会運営に参加し、これを成功させるべく協力することとする。

○大会運営マニュアル　・・・　大会を円滑に進めるためのマニュアルを明記したもの
○試合進行規則　　・・・　大会を公平かつ安全に行うため定めたもの

大会運営マニュアル

（１）グラウンド整備

主旨	試合に支障が出ないようグラウンドの整地、及び、大会を運営する本部席の迅速な設営と撤収のため、各チームが協力してそれを行なう。
設営と撤収	・設営はその日の第一試合の2チームと、当該球場で試合のあるチームの審判にて行なう。 ・撤収はその日の最終試合の2チームにて行なう。 ・開会式の会場設営・グラウンド整備は全チームにて行なう。 ・グラウンド状況が不良の場合は全チームにて行なうことがある。（水取りが必要な場合など）
集合時間	・連盟事務局より特別な連絡がない限り、その日の第一試合の１時間前に球場に集合する。 ・試合当日の朝に雨が降っていても、事前に連盟より中止の連絡がない限り、当該グラウンドに集合すること。
人員	・通常時は両チームとも状況に合わせ必要な人員を確保し、作業にあたる。 ・全チームの場合は１チーム１名以上とする。 ただし連盟事務局がグラウンド状況によりその人数を２名以上と指定する場合がある。 ・係員は必ず自チームの帽子もしくは周囲から自チームとわかる服装を着用する。 ・監督、コーチは本係員を兼任できる。 ・審判員は本係員を兼任できない。
担当球場 （２球場に分かれて作業する場合）	・片平球場担当チーム： 片平イーグルス、金程少年野球部、上麻生少年野球部、栗木ジャイアンツ、千代ヶ丘チャレンジャーズ、鶴川ハンターズ、西生田キングス ・虹ヶ丘球場担当チーム： 王禅寺少年野球部、下麻岡少年野球部、虹ヶ丘ファイターズ、白真少年野球部、みどり少年野球クラブ、百合丘ペッカーズ、若葉フレッシュリーブス ・連盟の指示により、その日の試合日程合わせて分かれる場合もある。
グラウンド整備	・内野グラウンドに対しトンボによる整地を行う。 （必ずトンボ掛けを行う。ブラシによる整地はトンボ掛けの後のみとする。） ・トンボはホームベースを中心に扇状に整地を行い、ボールのバウンドに支障が出ないよう留意する。 ・外野フェンスに横断幕を張る。 レフト側より中日スポーツ旗、「がんばろう日本」、連盟旗、バックスクリーンを挟みメインスポンサー旗、東京新聞旗の順とする。 ・ライン引きはグラウンド整備員で行われる。 ・ライン引きが完了した時点でグラウンド整備は終了とし、連盟役員に報告する。
本部設営	・設営の前に、地面の清掃（ゴミ、落ち葉など）を行なう。 ・次のものを準備する。 ①テント　②机・いす　③カウンターボード 一式　④試合球　⑤事務用品　⑥掲示板 ※リーグ戦のみ球場当番チームはゴミ袋の設置、お茶道具を準備する。

麻生区少年野球連盟　大会運営マニュアル・規則集

大会運営マニュアル

（２）試合運営

主旨	円滑な試合進行のため、本部席カウンター係、及びグラウンド内得点板に、各チームより係員を配置する。
得点係	・１塁側ベンチのチームより連盟帽を着用した係を１名配置する。 （ユニフォーム着用禁止） ・得点が入るごとにその点を掲示する。 ・選手への指導・応援は不可とする。　カメラ撮影は可とする。
カウンター係	・３塁側ベンチのチームより連盟帽を着用した係を１～２名配置する。 （ユニフォーム着用禁止） ・球審の試合開始の合図（プレイ）に合わせタイマーをスタートさせる。 ・球審のコールごとにそのカウントを掲示する。 ・打順のチェックを背番号をもって確認する。 ・バックネット裏の得点板に得点が入るごとにその点を記入する。 ・第一試合の係に限り両チームのシートノック時間（５分間）を計測し、終了２分前になった時点でその旨をノッカーに伝える。
審判給水係	・両チームより連盟帽を着用した係員で対応する。　＜総務部により対応＞ ・原則１塁側のチームがその試合の球審に給水のイニングを確認し、３塁側チームの係に伝える。 ・給水の際は１塁側チームの係は得点係ならびに球審と１塁塁審を、３塁側チームが２塁と３塁の塁審を担当する。 ・給水の際は係はグラウンドに入らず、入り口にて手渡す。
試合終了後のグラウンド整備	・その試合の両チームのコーチ、スタッフ、保護者らで協力し、次の試合に支障が出ないよう迅速に行う。（運動着・運動靴を着用のこと）
球場片付け	・その日の最終試合の両チームのコーチ、スタッフ、保護者らは、協力して次の作業を行う。 ①本部席の撤収　②外野フェンス横断幕の撤収　③グラウンド整備 グラウンド整備の際は、次回使用に支障のない様、へこみ・くぼみを修正する。 ・本部席の袋ゴミを最終試合の勝利チームが持ち帰る。
試合中の注意事項	・虹ヶ丘球場における本部席とは１塁側ベンチのホームベース寄り縁よりバックネット裏を通し３塁側ホームベース寄り縁まで、片平球場ではバックネット部を指す。 この部分でチーム関係者はその試合を観戦することはできるが、選手への指示、アドバイスなど声掛けはできない。 ・試合中のチームのいかなる人も本部席のタイマーを見たり、残り時間を聞いたりしてはいけない。 また３塁側チームの得点係が自チームにその残り時間を伝えてはならない。

（３）駐車場

片平球場	・周辺の有料駐車場を利用する。 ・選手および道具の積み下ろしのため球場外周に停車してはならない。 ・安全のため片平小学校周辺での駐停車は禁止とする。 ・開会式開始前に、関係者の球場外周路上駐車を防止するための案内係を置く。
虹ヶ丘球場	・周辺の有料駐車場を利用する。 ・選手および道具の積み下ろしは指定禁止場所以外の場所で行なう。 ・指定禁止場所　：　球場１塁側及び３塁側路上、虹ヶ丘小学校周辺 ・虹ヶ丘公園はバイク乗入れ禁止のため、運転せずに指定場所に置くこと。

麻生区少年野球連盟　大会運営マニュアル・規則集

試合進行規則

（１）選手登録、メンバーチェック

選手登録用紙	・連盟から配布される選手登録用紙を期日までに提出する。 ・大会開会式が始まる前に選手登録用紙を2部大会本部に提出し、連盟印の押印を受け、そのうち1部を受け取る。
メンバーチェック	・メンバー表は、本部席、球審、相手チーム、自チームの計４枚を用意する。 （決勝戦は放送席用に計５枚）　（選手全員のふりがなを記入する） ・その日の第一試合のチームは試合開始３０分前、第二試合以降は１時間前までに本部席でのメンバー表のチェックを受ける。 ・メンバー表には当日の出欠に関わらず登録選手全てを記入する。 ・メンバー表のチェックを受ける際は、連盟印の押印がある選手登録用紙とメンバー表を持参し、チェックを受ける。 ・メンバー表をチェックする本部員は、メンバー表を読み上げ、選手登録用紙と背番号、氏名に相違がないか確認をする。 ・メンバー表のチェックが終了したチームは速やかに道具チェックを受ける。

（２）道具チェック

道具チェック係	・道具チェックは原則当該審判によって行われる。 ただし審判員が自チームの試合のベンチ入りで不在の際は、本部席要員もしくは審判部員が代行することができる。 ・片平球場においては、それぞれのベンチサイドで道具チェックを受ける。 ・虹ヶ丘球場においては、本部席で道具チェックを受ける。
チェック項目	・道具チェックは次を確認する。 ① バットがJSBB（少年軟式用、一般軟式用問わず）の認定を受けていること ② バットの打撃面にくぼみ、へこみがないこと ③ ヘルメットに安全マークがあること ④ ヘルメットの耳を保護する部分に亀裂、傷、剥がれがないこと ⑤ 捕手のマスク、ヘルメット、プロテクター、レガース、ファウルカップ（控え含む）

（３）試合開始準備

先攻後攻の決定	・先攻後攻は、球審、大会本部員、両チーム監督の立会いのもと、両チーム主将のじゃんけんで決める。 ・当該球審は、第一試合ではグラウンド内バックネット付近、第二試合以降は本部席でその試合の先攻後攻を決める。 ・先攻後攻決定後、大会本部員はメンバー表にそれを記入し、本部席、球審、両チームに各１部ずつ配布する。
審判員	・当該審判員４名は、試合開始前に外野のテリトリー範囲などについて事前に打合せを行う。 ・試合球は４球とし、球審が本部より支給を受ける。

（４）ベンチ入りメンバー

	・ベンチには、統一のスパイク、ユニフォームを着用した選手・監督・２名のコーチとともに、スコアラー1名、チーム代表者1名が入ることができる。 ただしその２名はユニフォームを着用してはならない。 ・選手は１０名以上２０名以内とする。

試合進行規則

（５）アップ

全試合	・監督、コーチはベンチを出て選手を指導してはならない。 ・素振りを含む打撃練習をしてはならない。
第一試合時の特例 （麻生区内のみ）	・第一試合のチームはシートノック開始までの時間に、①外野でのノック　②ベンチ前でのノック　③指導者立会いのもとの素振り　を行なってもよい。

（６）シートノック

時間	・第一試合のシートノックは試合開始予定時刻の１５分前から後攻側より行い、時間は５分間とする。
注意事項	・捕手はマスクを地面に置いてはならない。 ・ボールを受け取る控えの選手は必ずヘルメットを着用しなければならない。 ・ノックを行うのは背番号２８～３０番の監督、コーチでなければならない。

（７）試合進行中

開始時刻	・第一試合が８時開始の場合に限り、開始時刻を早めてはならない。 ・球審のプレイのコールをもって試合開始時刻とする。
ブルペンでの投球練習	・第二試合以降のチームの先発投手は、自チームの試合の前の試合が１時間を経過した時点、もしくは５回の裏終了時よりブルペンでの投球練習ができる。 ・ブルペンでの投球練習、キャッチボールは一組とし、試合中のチームが優先される。 ・捕手はマスクを地面に置いてはならない。 また座って捕球する際は必ずマスクを被らなければならない。（第一試合も同じ）
予備選手	・ボールボーイ、バットボーイは必ずヘルメットを着用しなければならない。 ・投手のイニング開始前に行う投球練習において予備の捕手が捕球する時は、プロテクター、レガース、ヘルメットを着用しなければならない。 もし着用しない場合は打者用ヘルメットを着用し、座って捕球してはならない。
インプレイ中の注意事項	・インプレイ中は、選手、監督、コーチ、その他いかなる人もベンチラインより出てはならない。 （片平球場＝ベンチ前縁の柱間、虹ヶ丘球場＝２段目） ・打者はネクストバッターズサークル内～バッターボックス内でバットを振ってはならない。 ・打者がベンチからのサインを確認するのはバッターボックス内のみとする。
選手交代	・選手交代の申告は、タイムを要求し球審が認めボールデットの状態となった時点で申告する。 ・選手交代を告げられた球審は、メンバー表に登録されている選手であることを確認し、その旨を相手チーム並びに本部席に報告する。

試合進行規則

（８）試合時間

・リーグ戦・トーナメントともに、９０分を経過後、新しいイニングには入らない。
（リードしている後攻チームが攻撃中に規定時間を過ぎた場合は、その打者の打席が完了した時点で試合終了）
・同点の場合は、時間に関わらず特別ルール（無死満塁、継続打順から）にて延長戦（タイブレーク）を１イニングのみ行なう。 通常の延長戦は行なわない。
・なおも同点の場合は、抽選によって勝敗を決める。（引分け、なし）

（９）試合成立

・当年度公認野球規則および競技者必携を適用するものとする。
・試合成立前に降雨・日没などにより試合続行が不可能となった場合、特別継続試合とすることもある。

（１０）点差コールドゲーム

・点差コールドゲームの定義について
・３回終了時で１０点差となった時点で試合終了
・５回終了時で７点差となった時点で試合終了
双方とも、先攻チームがリードしている場合、裏のイニング終了時点で試合終了。
後攻チームがリードしている場合、表のイニング終了時点あるいは裏のイニング中にその点差になった時点で試合終了。

（１１）試合終了後

・審判員は試合終了後、必ず反省会・確認会を行うこと。

（１２）リーグ戦の順位決定方法

・次の順にてリーグ戦の順位を決定する。
①勝利数
②当該チーム対戦結果
③総失点率（＝総失点数÷総イニング数）
※タイブレークの失点・イニング数は除外する。